



発行責任者
社会福祉法人こころ 理事長 金子 智子

こころ編集局
諏訪市高島一丁目21番14号
TEL0266-54-5610
FAX0266-54-5618

夏の防災・避難訓練開催

7月24日、こころのひろば小規模多機能において、利用者・職員そろうの「防災訓練・避難訓練」が行われました。車椅子での避難をはじめ、スロープや段差での避難の介助や、訓練用の消火器を使っての初期消火訓練もあり、暑い中ではありましたが力を合わせて取り組みました。こころのひろば・こころ高島では、各施設において避難訓練を実施しており、職員も積極的に参加し防災に取り組んでおります。

写真は薬剤の代わりに水が入った消火器で、初期消火の訓練を行うようす。(写真左下)

実際の薬剤噴射は家庭用のもので10~20秒、天ぷら鍋3個分ほどの火災に有効である、とされているようです。とはいえ、実際の火災の時には憶測に頼らず、最低限の初期消火が済んだら、速やかに避難しましょう。(提供：こころのひろば小規模多機能)



★こころ秋祭り★ 開催のお知らせ

日時：9/10(日) 9:30~12:30

場所：こころのひろば

どなた様もお気軽にお越しください。

♪こころ秋祭り週間♪ 開催のお知らせ

日時：9/7(木)~9/13(水)

場所：こころ各施設にて

それぞれの施設で様々な催しを行います。お楽しみに★

もしも実際に火災が起きたら

1. 大きな声で「火事だー!!」と叫ぶ。

とにかく周囲に火災発生を知らせましょう。通報を頼むのもいいでしょう。

2. 自分の安全を確認し、初期消火の準備。

小さな火事なら、消火器も十分に有効です。消火器を持ち火元から2~3メートルの場所まで近づきます。消火剤を出しながら近づくと、火元にかかる前に薬剤が切れてしまうことがあります。

3. 安全ピン(黄色)を抜く。(まだ消化液は噴射されません。)

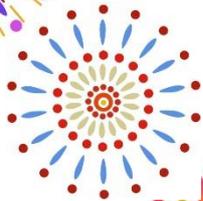
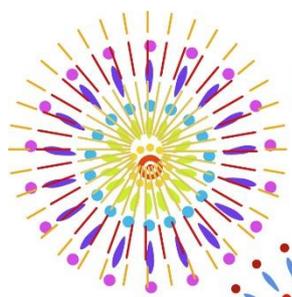
4. ホースの先端を消火器から外し、火元へ向ける。

5. レバーを握る。(消化液が噴射されます。)

6. その場を離れる。

屋内で火が天井までついたり、屋外ではおおよそその位の高さになると消火器では効果が望めません。即時避難し、貴重品などを取りに戻るのも絶対にやめましょう。





グループホーム 笑顔満開の家族会

7月9日、初夏の晴天の下、かんぼの宿でグループホームの家族会を開催しました。諏訪湖を一望しながらの美味しい会食と、ビンゴゲームで大いに盛り上がりました。リーチはかかるも、なかなかビンゴが出ず、番号が呼ばれる度に「次こそは・・・」と皆様ドキドキ！期待が膨らみます。しばらくして「ビンゴ！！」景品をもらおうと笑顔の花火が大輪の花を咲かせました♪。



(提供：こころのひろばグループホーム)



「専門職の接遇研修」開催

配布された台本のセリフを読み、感じたことを話し合います。
(写真左上)「ため口」や「赤ちゃん言葉」などが与える印象が



よくわかります。講師がかつらやつけ爪等を使い、普段から身に着けておきたい「身だしなみ」についての実演をする様子(写真右下)介護職においては、利用者やその家族との信頼関係を築く大切な「言葉」というツール。正しく使って、役立てたいですね。



(提供：こころのひろば)



8月9日、こころのひろば多目的ホールにて「介護職における専門職の接遇」についての研修が行われました。講師はこころのデイサービスで日々介護の現場に立つ職員で、言葉遣い、身だしなみ等について、「接遇とは、おもてなしの心を持って接するという意味がある。サービス業だけでなく、介護の現場でも浸透してきている。正しい言葉遣い、あいさつを心掛けて欲しい」とのお話がありました。

